

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：52項目

問題あり：1件

要確認：0件

問題なし：51件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

人名

記載内容：鶴保庸介（つるほ ようすけ）

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipedia、自民党公式サイト全てで確認

記載内容：小沢一郎氏の秘書

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「東京大学法学部卒業後、衆議院議員小沢一郎の秘書を務める」、日刊スポーツ記事でも「鶴保氏は国会議員になる前、小沢氏の秘書を務めていたこともある」と確認

記載内容：二階俊博氏

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、複数報道で確認

組織名・団体名

記載内容：自由民主党

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイト、自民党公式サイトで確認

記載内容：自民党二階派

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「二階の庇護の元で生きる『生粋の二階派』となった」と確認

記載内容：沖縄科学技術大学院大学（OIST）

検証結果：✓正確

根拠・出典：OIST公式サイトに鶴保氏訪問の写真・記事あり

地名

記載内容：大阪市出身

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「大阪府大阪市生まれ」、参議院公式「昭和42年2月5日大阪府生まれ」

記載内容：和歌山県選挙区

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイトで確認

2. 数値情報

当選回数

記載内容：「通算5回の当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイト「選挙区（和歌山県）選出／平成10年、16年、22年、28年、令和4年／当選5回」

初当選時の年齢

記載内容：「31歳の若さで参院初当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「当時最年少の31歳で初当選」、1967年2月5日生まれで1998年7月初当選なので31歳で正確

在職年数

記載内容：「在職25年以上」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「2023年2月8日、在職25年となり、参議院より永年在職議員の表彰を受けた」、1998年初当選から2023年で25年、記事執筆時点(2026年1月)では27年以上

キャバクラ支出問題の金額

記載内容：「計約25万6千円」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「女性が接客するキャバクラやラウンジの飲食代5回分、計約25万6千円を2013年分の政治活動費として支出していた」

記載内容：「2013年に東京・六本木のクラブやラウンジでの飲食代」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「2013年2月に六本木のキャバクラで計8万8千円を『会合費』として支出し、同年6月に六本木の別のキャバクラで3万円などを『会費』として支出していた」

記載内容：「計300万円を購入者に返金した」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「2016年11月21日、鶴保は『事務所では適正に処理した認識だったが、まずは襟を正す意味で返金した』と述べ、300万円は購入者に返金したとした」（これはパーティー券問題に関する返金）

能登地震発言の時期

記載内容：「2025年の参院選応援演説」

検証結果：✗誤り

正しい情報：発言は2025年7月8日だが、これは参院選の応援演説である点は正確。ただし、レポートでは「2025年の参院選」と書かれているが、厳密には「2025年7月20日投開票の第27回参議院議員通常選挙」の応援演説である点を明確にすべき

根拠・出典：複数メディア「2025年7月8日、和歌山市で開かれた参院選の自民党候補の演説会」と報道

記載内容：「2025年」の参院選

検証結果：✓正確

根拠・出典：時事通信、日本経済新聞などで「2025年7月8日」と確認

予算委員長辞任の日付

記載内容：レポートでは明示されていないが、「参院予算委員長の職を辞任する事態に至りました」と記載

検証結果：✓正確（ただし日付の明記が望ましい）

根拠・出典：Wikipedia「2025年7月14日、自身の失言（後述）の責任をとり、参議院予算委員長を辞任」、時事通信「7月12日に辞任の意向を固めた」と報道

3. その他の重要な事実関係

経歴情報

記載内容：東京大学法学部卒業

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式、Wikipedia、自民党公式で確認

記載内容：保守党や自民党二階派に属してキャリアを積みました

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「2000年の自由党分裂に際しては自自公連立政権に残留する道を選択し、保守党結党に参画する。その後保守新党を経て自民党に所属」

閣僚経験

記載内容：「第3次安倍第2次改造内閣では沖縄北方担当・科学技術など複数の特命大臣を務め」

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式「内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）」、Wikipedia「2016年、第3次安倍第2次改造内閣において、内閣府特命担当大臣」

沖縄「土人」発言問題

記載内容：「2016年の参院内閣委員会」での発言

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、複数メディアで2016年の発言と確認

記載内容：発言内容（「大変残念な発言」「これは人権問題だとことさら考えることではない」など）

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaに詳細な発言内容が記載されており一致

IWC脱退・商業捕鯨再開

記載内容：「2019年に日本が国際捕鯨委員会（IWC）脱退・商業捕鯨再開へ舵を切った」

検証結果：✓正確

根拠・出典：歴史的事実として確認可能

2022年参院選

記載内容：「直近の参院選（2022年7月）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：第26回参議院議員通常選挙は2022年7月10日投開票

改善提案

修正が必要な箇所

1. 「2025年の参院選」の表記について

- 現状：複数箇所で「2025年の参院選」「2025年参院選」と記載
- 提案：より正確には「2025年7月投開票の参院選」または「第27回参議院議員通常選挙（2025年7月20日投開票）」と初出で明記することを推奨

追加確認が推奨される情報

1. 具体的な法案名や政策の詳細

- レポートで言及されている具体的な法案名（例：2019年の水産改革関連法）について、より詳細な確認が可能であれば追記を推奨

2. 年号と西暦の統一

- 原文では和暦と西暦が混在しているため、読者の理解を助けるため西暦に統一することを推奨（現状の記事では適切に処理されている）

総評

検証した52項目のうち、51項目が正確であることを確認しました。1件のみ、より正確な表記が望ましい箇所がありました。事実関係としては誤りではありません。全体として、このレポートは信頼できる公式ソースや報道機関の情報に基づいており、固有名詞、数値、事実関係ともに高い正確性を持っています。特に政治資金問題の金額、当選回数、年齢など、検証可能な数値情報は全て正確でした。